“元気”をテーマにした郷土づくり

平成 18 年振興会発足時作成、第１次振興計画。平成 28 年第２次振興計画（５年）を更新。今回、令和４年から５年間の第３次振興計画を令和元年から天神の未来談義で意見が上がった課題や要望を盛り込み新たに作成しました。
皆さんと一緒に明るい未来を創りましょう。

天神地区振興会

天神地域は「東山・青柳・天神野新・東尾崎・木下新・川の瀬」の地区住民が思い描く”住みやすい郷土”を住民自らがそれぞれの立場で仲間を集い、楽しく過ごせる地域環境を改善するために天神地域振興会を構成しています。

それぞれの組織（団体）は生涯学習、福祉、安心安全、社会的な役割、自治を見据え何を目的にコミニュティを進めるのかを明確にし活動しています。ネットワークと連携で今まで以上の社会生活の改善と向上を目指し行動をして参ります。



目指す地域振興連携図

コミュニティセンター（公民館兼務）職員
- 事務員
- 事務員

観光資源の維持管理
地元産業を活性化

振興会長

事務局長

行政・関連諸機関

生涯学習グループ
- ●公民館
- ●文化 SP

地域住民の生涯学習テーマとする活動を提供するグループ

福祉育成グループ
- ●保健衛
- ●社協
- ●民生委員
- ●後援会
- ●環境美化

地域住民の福祉、厚生面のケア活動をするグループ

生活保全グループ
- ●防犯組合
- ●交通 C
- ●消防団
- ●市民バス
- ●じんたろう倶楽部

地域住民の安全安心を啓発・提供するグループ

ヒューマングループ
- ●女性の会
- ●PTA
- ●年輪会

地域住民、団体、地区活性化及び社会的役割を担う

政治・自治グループ
- ●区長会
- ●自主防災
- ●住民団体

地区自治の全般掌握と発展のための提言及びその活動を実施

グループ活動

グループでの活動は通年・通常通り実施する。しかし、事業枠を超える事業活動、その活動予算を共有し共同で行動を行う。

＊ピラミッド型組織ではなく、すり鉢組織運営を行う。
　幅広い意見を集約し、実のある活動が出来る運営組織化の実現を目指す。
＊振興会長・事務局はその情報を形（活動）に変えるアシストを行う。

緑の大地“天神”
天神地域振興会

令和４年～令和８年

天神地区振興５年計画 ５つの目標と取組

目的を明確にし、地域ニーズに寄り添う。

1 ポイント スタンプ活動

全地区住民協力型自治運営と世代間の役割を再構築

●参加者への魅力の提供
（獲得ポイントで商品等で還元）

↓

５年後 個人に役立つ商品内容に移行
（乗合タクシーやお買い物支援）



ボランティア活動



2 未来会議 リラックス座談会

自由な発言から生まれる新しい事業創出

●個人の思いや意見が出やすいリラックス座談会開催
→意見から生み出る取り組みを自らの企画から運営までできる支援を実施

↓

５年後 地区ごと（出前講義）で聞き出す未来トーク



遺産保護活動



3 地域魅力発信

有形・無形伝統資源、財産をアピール

●現在地区毎に行っているお祭りや多種伝統活動を紹介する場の提供
●みらいに残す観光資源を現状から見える魅力をブラッシュアップさせる宣伝
→広報掲載・Facebook・天神 YouTube でアピール

↓

５年後 地区内 now 情報発信、身近に感じられる事業認知をあげる（事業変化発展へつなげる広報活動）



郷土愛着活動





4 よってかれま

気軽に話す・遊ぶ・学ぶ・自慢ができる場の提供

●「よってかれま」を公民館に旗揚げし、公民館を解放、子ども事業の拡大
→日頃気軽に寄って、話など出来る場に（施設を自由解放し、お茶・お菓子・用具を自由に使用）
→月毎にイベントを企画「持ち寄り会・学びの森未来会議と交流・自慢物披露」

↓

５年後 何でもありきでやってみる、ちょっと寄り道・おしゃべりが出来る場所（環境・施設）へ



交流コミュニケーション活動





5 こころとからだの 健康促進

元気＝健康「こころとからだをケア」をテーマに講座・教室を継続的に実施

●健康寿命ケア
●ひとり暮らし世帯へのケア
→興味のある健康講座「食・生活・運動他」
→実体験型健康事業「体操・ヨガ・ウォーキング他」
→高齢者が望むケア、支援の拡充

↓

５年後 元気をテーマに健康維持向上をテーマに取り組み拡大
自立生活が困難な世帯の支援
（病院送迎、買物同行、除雪）



健康促進・地域発見活動





コミュニティセンター移行について

令和６年度中に移行決定

魚津市内全地区のコミュニティセンターへの移行が、令和６年度中には実施されます。
天神地区も公民館からコミュニティセンターに名称が変わります。
コミュニティセンターに移行すると、従来の生涯学習事業に加え、幅広い地域コミュニティ活動の拠点となる施設。コミュニティビジネスなど、地域の人材・資源・文化を活用した柔軟な事業展開が可能となります。

これから５年間で実施していくこと

1 利用価値向上に向けて検討していく（令和５年度中に館の目指す特色）
・福祉面でのさらなる充実
・施設改修を行政へ支援要望

2 現行実施している地域づくり活動、住民がやりたいイベント等に利用できるようになる（子育て支援・専門的な教室・発表会など学習の場の提供）

3 地区特産品の提供
（移行安定見極めができ将来的には有償提供も可能に）



最終目標は、介護ケアができる館

